

2021年における松川浦のアサリ資源動向

福島県水産資源研究所 資源増殖部

1 部門名

水産業—その他—アサリ

2 担当者名

佐藤利幸

3 要旨

松川浦におけるアサリ資源の主体である2013年及び2017年級群の資源量が減少する中、資源を最大限に利用するには、残存する資源に加え、漁獲加入前の資源量把握が不可欠である。

2021年11月時点における松川浦内の推定資源量は、2013年及び2017年級群で前年比約30%まで減少した。2018年以降に発生した年級群の資源量は成長に伴い増加したが、次漁期に漁獲加入する資源水準が低いことから、食害生物駆除を徹底し資源維持に努める必要がある。

- (1) 令和3年11月時点における推定資源量は2013年級群で88トン、2017年級群77トンであった(図1)。前年同時期に比べ2013年級群、2017年級群とも193トン減少した。
- (2) 2018年以降に発生した年級群の推定資源量は88トンである(図1)。殻長35mm以上の漁獲サイズの割合は58.6%であり、残る殻長35mm未満のうち、次漁期に漁獲加入が見込まれる資源は、殻長25mm以上から35mm未満の26.2%のみである(図2)。次漁期の漁獲資源確保のため、食害生物駆除の努力量を上げ減耗を防ぐ対策の強化等が必要である。

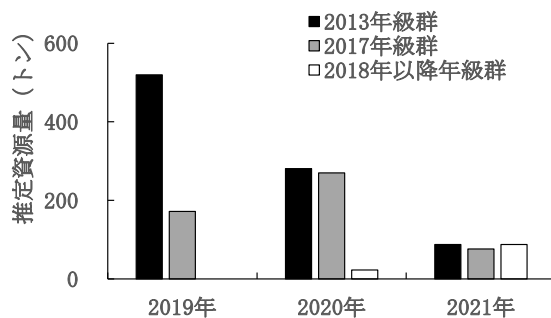


図1 年級群別の推定資源量の推移

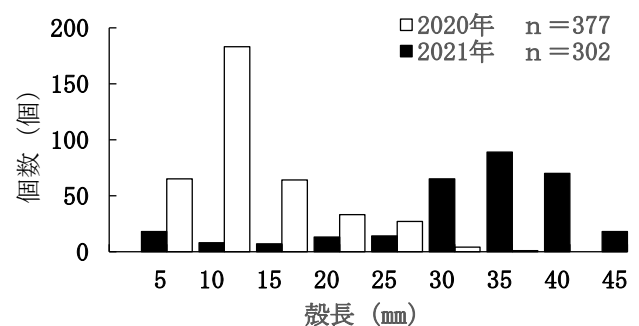


図2 2018以降年級群の殻長組成

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3年度～令和7年度
- (2) 研究課題名 松川浦の増養殖の安定化に関する研究

5 主な参考文献・資料

- (1) 松川浦におけるアサリの漁場別密度と資源量, 平成29年度普及に移しうる成果